



五ヶ瀬町 認知症支援の手引き

~住みなれた地域で安心して暮らすために~

認知症支援の手引きとは、認知症の疑いから発症、進行とともに変化していく状態に応じて、どのような医療や介護などの支援をうければよいか、おおまかな目安を示したものです。

早い段階から適切な対処方法を知っておくことは、認知症の人の理解やケアに役立ちます。

症状なし

軽度認知機能障害

初期症状

中期症状

後期症状

症状・行動など



認知症のような症状はあるが、認知症とは診断されない状態

- 認知症における物忘れのような記憶障害が出るもの、症状はまだ軽く、正常な状態と認知症の中間の状態
- 認知症になる一步手前の段階

認知症の症状はあっても日常生活は自立している状態

- もの忘れが多くなり、不安が強い
- 新しいことを覚えられない
- 以前はできていたことが難しくなる
- 失敗を指摘すると怒り出すことがある
- 意欲がなくなる など



日常生活に手助けや支援・介護が必要な状態

- 着替えや食事、排せつがうまくいかなくなる
- ついさっきのことも忘れる
- すぐ興奮する
- 時間や場所が分からなくなる など



日常生活全般に介護が必要な状態

- 表情が乏しくなる
- ほぼ寝たきりでいつも介護が必要になる
- 排せつの失敗が増える
- 家族の顔が分からなくなる など



家族や周囲の対応

- 認知症についての正しい知識を持っておく
- 本人の趣味や、将来についての希望を把握しておく
- 気になることがあつたら、かかりつけ医や地域包括支援センターに相談する

- 認知症は早期発見で適切な対処をすれば、進行を遅らせたり、症状を軽くすることができることを知っておく
- 病気によっては認知症のような症状が出る場合もあるため、変化に気づいたら、まずはかかりつけ医に相談する
- 認知症は早く気づくこと、早く適切な対処や治療をすることが、何よりも大切です

- 今後のことについて家族で話し合っておく

- 地域の人に本人のことを伝え、見守りや声かけをお願いしておく
- 専門医療機関を受診し介護保険サービスなどについて、医師や地域包括支援センターなどに早めに相談する

- 家族自身の健康やストレスにも気をつける

- 困ったことがあつたら家族だけで抱え込みず、担当ケアマネジャーや地域包括支援センターに相談し、必要なサービスを利用する
- 本人の状態に合わせて、本人を不安にさせないように、混乱させないように接する

- 食事や排せつなど、日常生活で失敗が増えてくることを理解しておく
- 各種サービスなどの支援を活用し、家族が介護の負担を抱え込まないようにする
- どのような最期を迎えるか、家族で話し合っておく

受けられる支援・サービスなど

それぞれの説明が裏面にありますので
ご覧ください

町の介護予防事業や地域でのいきいきサロン・居場所（※裏面④）

オレンジカフェ 認知症の人と家族の会（裏面⑤）

かかりつけ医や認知症専門医への相談・受診（裏面①）

認知症疾患医療センターへの相談・受診（裏面②）

認知症集中支援チーム（裏面③）

五ヶ瀬町認知症初期集中支援チーム（裏面⑥）

必要に応じ、総合事業や介護（予防）サービスなど（裏面⑥）

【認知症相談窓口】

五ヶ瀬町地域包括支援センター(役場福祉課内)

〒882-1203 五ヶ瀬町大字三ヶ所1670番地

電話 82-1248

※月曜から金曜(土日、祝祭日、年末年始を除く)8時30分～17時15分

◎認知症地域支援推進員

一人暮らし高齢者世帯等の自宅訪問(実態把握)や認知症の人やその家族の方の相談支援、地域への認知症の理解と普及啓発、認知症の人が症状に応じて必要な医療・介護サービスを受けられるよう連携を図る役割を担います。

◎五ヶ瀬町認知症初期集中支援チーム ※①

認知症の早期診断・早期治療に向けた支援を行うことを目的に活動します。

ご家族等からの相談を受け、認知症が疑われる方や認知症の方に対し、各分野の専門職がチームで関わり、認知機能や健康状態の把握を行います。その後、受診や適切なサービスにつながるよう支援していきます。まずは、五ヶ瀬町地域包括支援センターにご相談ください。

認知症に関する専門医療機関

※②、③



認知症専門医

※認知症専門医とは、学会が認定している認知症の専門医のことです。

主に「精神科」「神経内科」「脳神経外科」という診療科が認知症の専門医療機関です。

国見ヶ丘病院 高千穂町大字押方1130

電話 72-3151

認知症疾患医療センター

※認知症疾患医療センターとは、宮崎県から委託を受け、認知症専門医療の提供と介護サービス事業者との連携を担う、地域の中核機関としての医療機関です。受診は予約制ですので、あらかじめ電話でのご相談が必要です。

《県北地区》

吉田病院 延岡市松原町4丁目8850-4 電話 (0982)37-0126

協和病院 日向市財光寺1194-3 電話 (0982)54-5015

地域で利用できるもの

※④



地域の居場所

現在、町内7か所でそれぞれ月1回開かれています。地域の住民が主体となって、気軽に集い、おしゃべり、手遊び、体操、ゲーム、手芸などを楽しんでいます。介護予防や認知症予防はもちろん、地域の住民のつながりが深まる、大切な場所です。今後も開催場所を増やしていく予定です。

ふれあい施設(旧北部信用組合施設)

年齢も性別も関係なく目的がなくても、誰でも気軽に立ち寄れる場所として、現在NPO法人結ネットたんぽぽが「おしゃべり日和」を開いています。おしゃべり、折り紙、パズル、手芸、カラオケなどで一日楽しく自由に過ごせます。町内各地からの利用があり、昼食もみんなで食べる所以、楽しい友達づくりの場にもなります。

いきいきサロン

町内各所で月1～2回程度開催しています。筋力維持向上のためのいきいき百歳体操や口腔体操、認知症予防など、介護予防を中心に行っています。サロンに出かけることが、予防や生きがいづくりなどの、自立した生活につながります。

認知症家族支援事業

※⑤



オレンジカフェ

オレンジカフェとは、認知症の人と家族を支え、ご本人やご家族が気軽に立ち寄れる場所のことで、地域の人たちとのつながりを作るきっかけができる場所です。五ヶ瀬町では現在、若年性認知症の人を対象に実施しています。

認知症の人と家族の会

毎月第2月曜日の9時30分から11時30分、福祉センターにて実施しています。家族介護をされている方、介護を経験してきた方を対象に、会員相互の交流を目的とした会です。

認知症の人や家族を支援する制度

※⑥

◇介護保険制度、介護予防・日常生活総合支援事業

◇成年後見制度



詳しくは地域包括支援センター(電話82-1248)までお問い合わせください。